

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年 6月 24日

豊 田 市 長 殿

提出者

住所 愛知県豊田市高丘新町天王1番地

氏名 アイシン高丘株式会社

代表取締役 奥田 誠

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 050-3094-5319

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和7年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

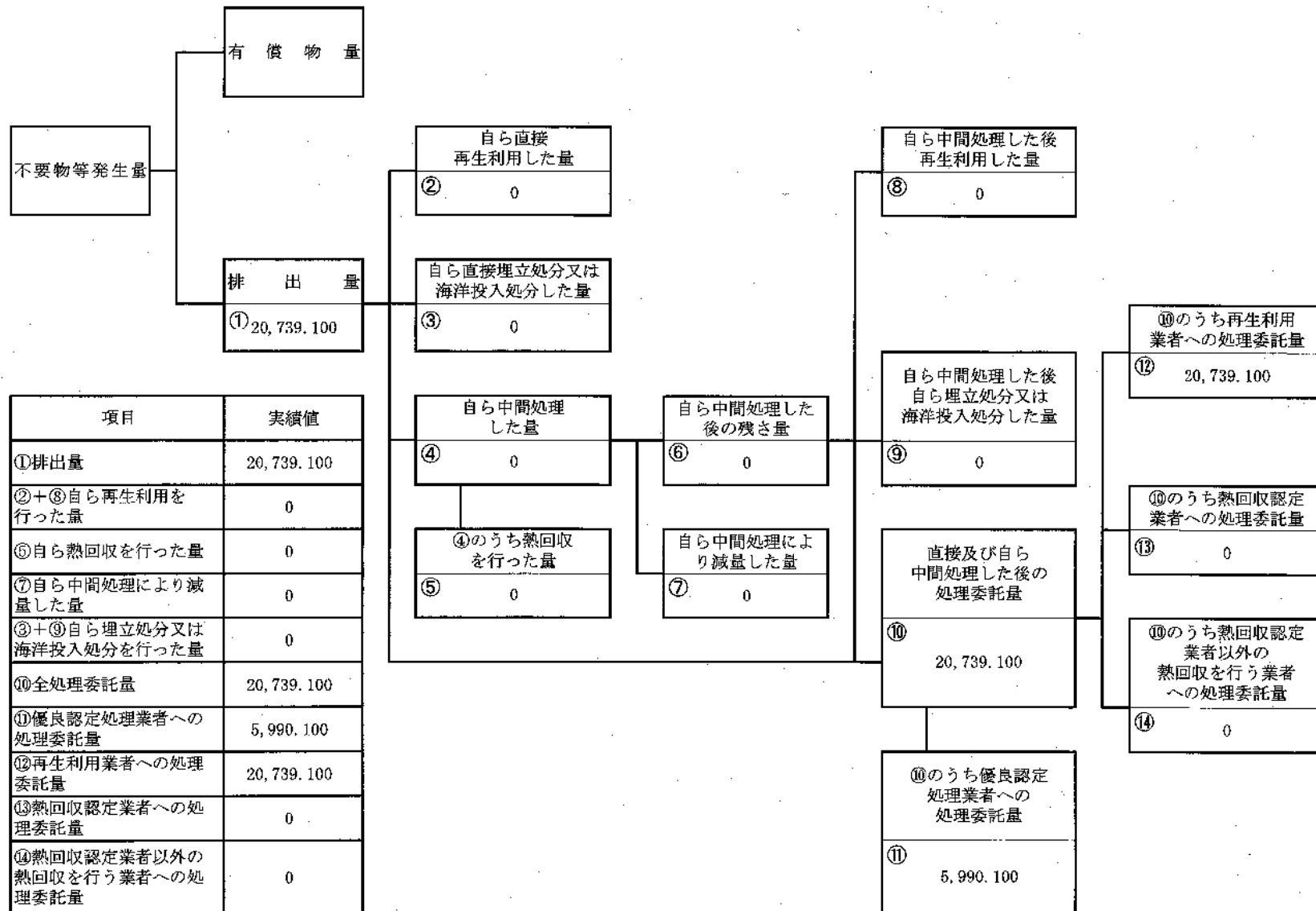
事業場の名称	アイシン高丘株式会社 本社工場
事業場の所在地	豊田市高丘新町天王1番地
事業の種類	31：輸送用機械器具製造業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和 7 ⁶ 年 4月 1日～令和 8 ⁷ 年 3月 31日

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	40,402 t	全処理委託量	40,402 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	優良認定処理業者への処理委託量	12,183 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	再生利用業者への処理委託量	40,402 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者への処理委託量	0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t
※事務処理欄			

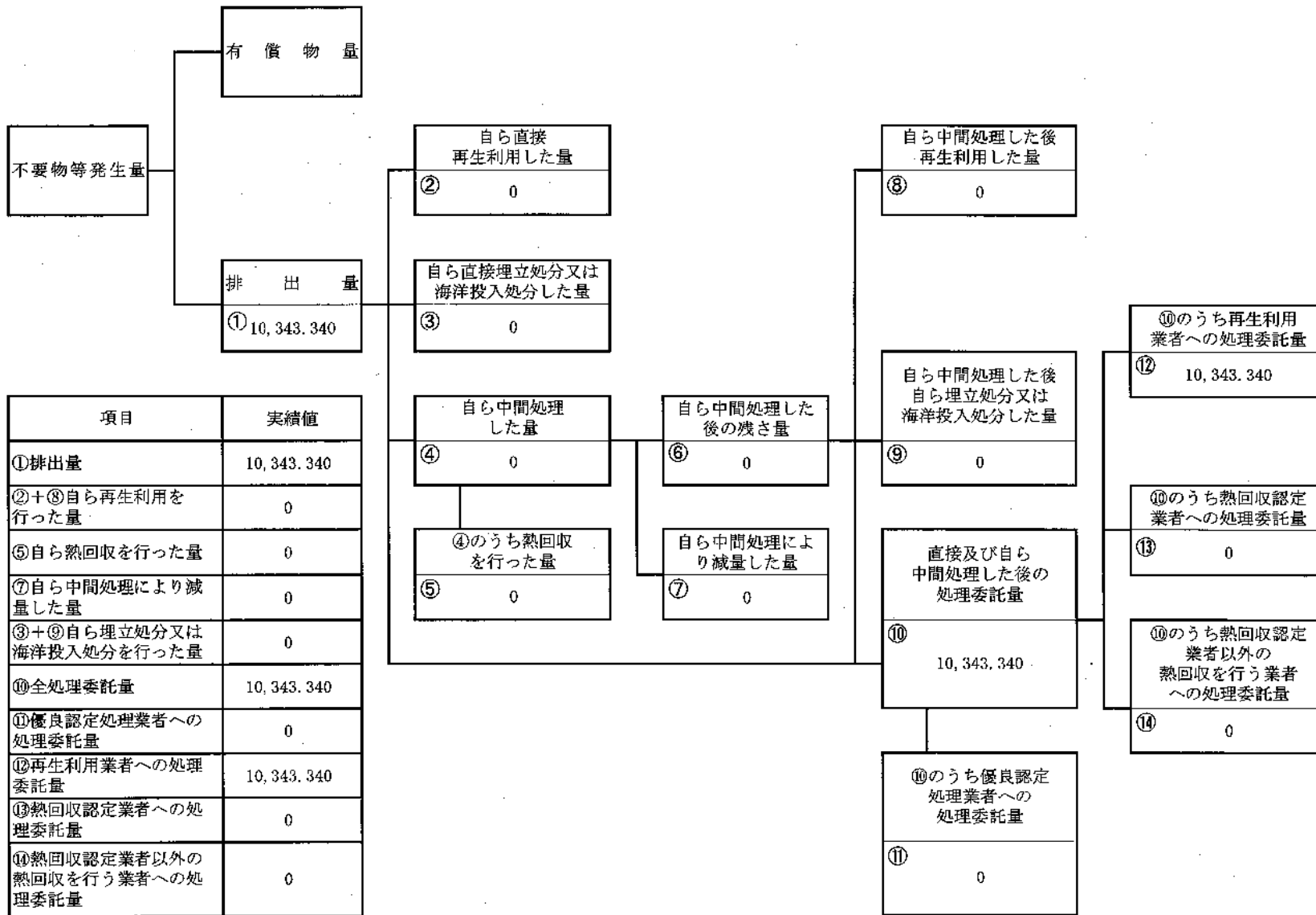
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：鉍さい/鋳物ダスト)



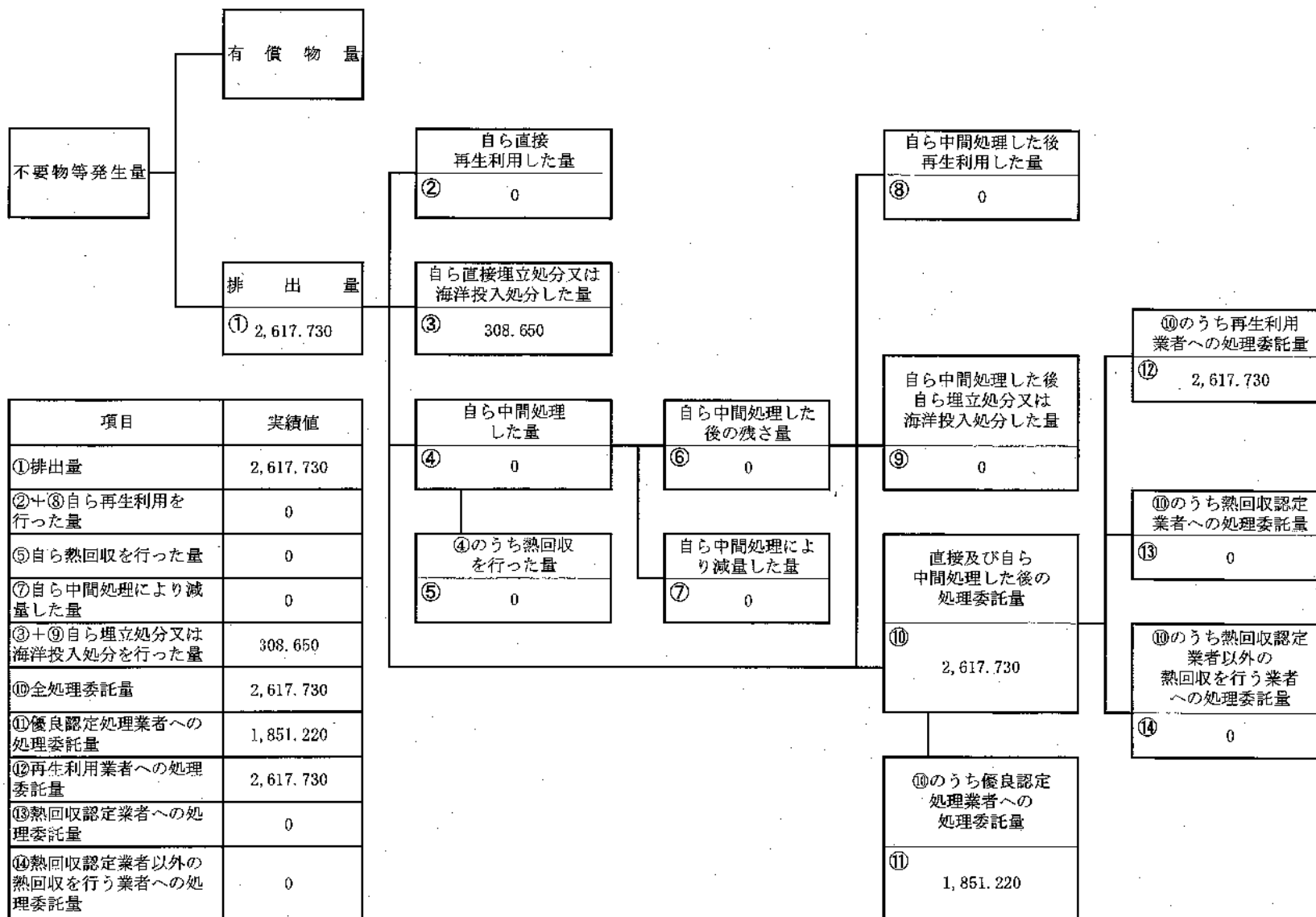
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：鉍さい/鋳物砂（再生）)



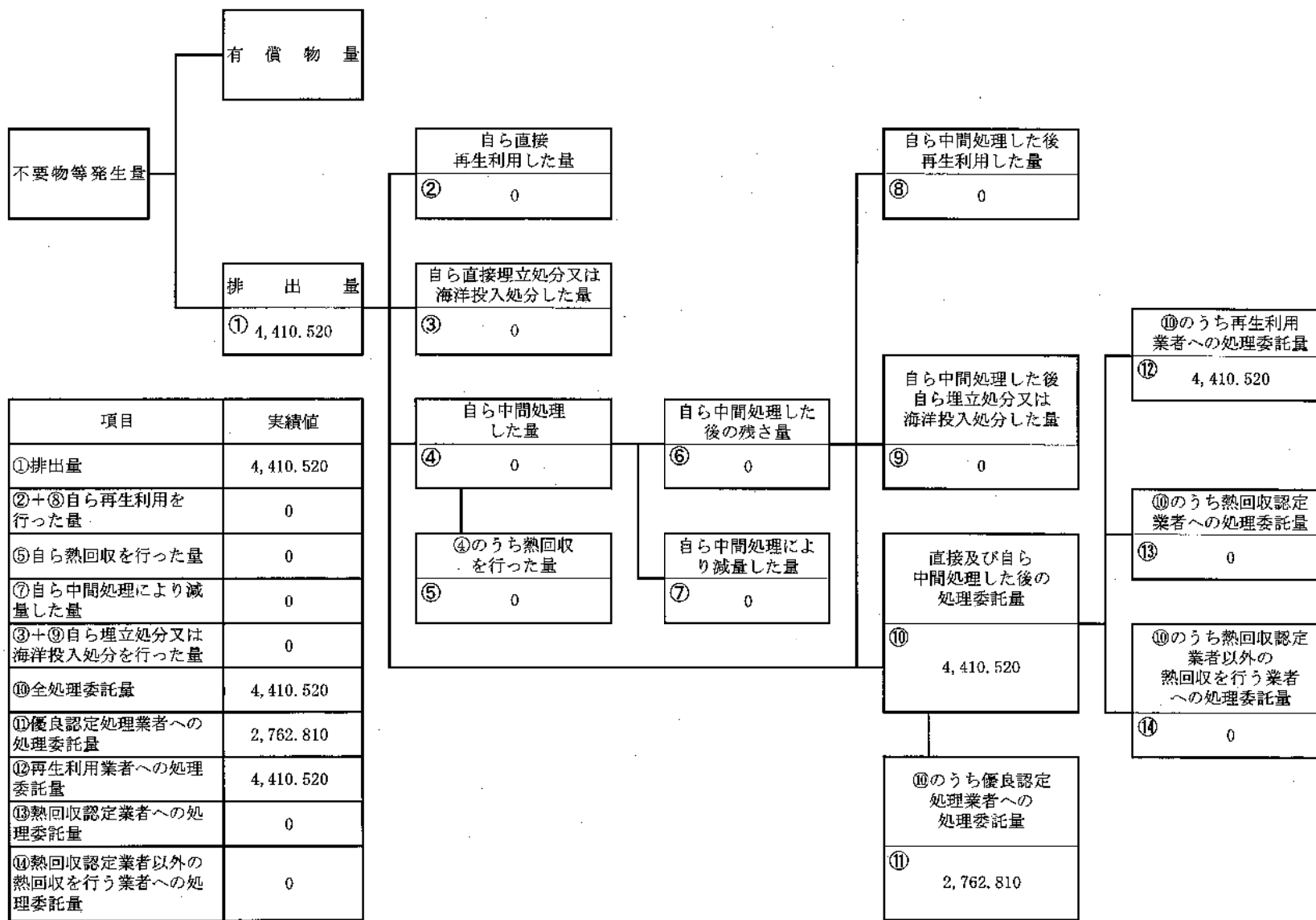
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：鉍さい/ノロくず)



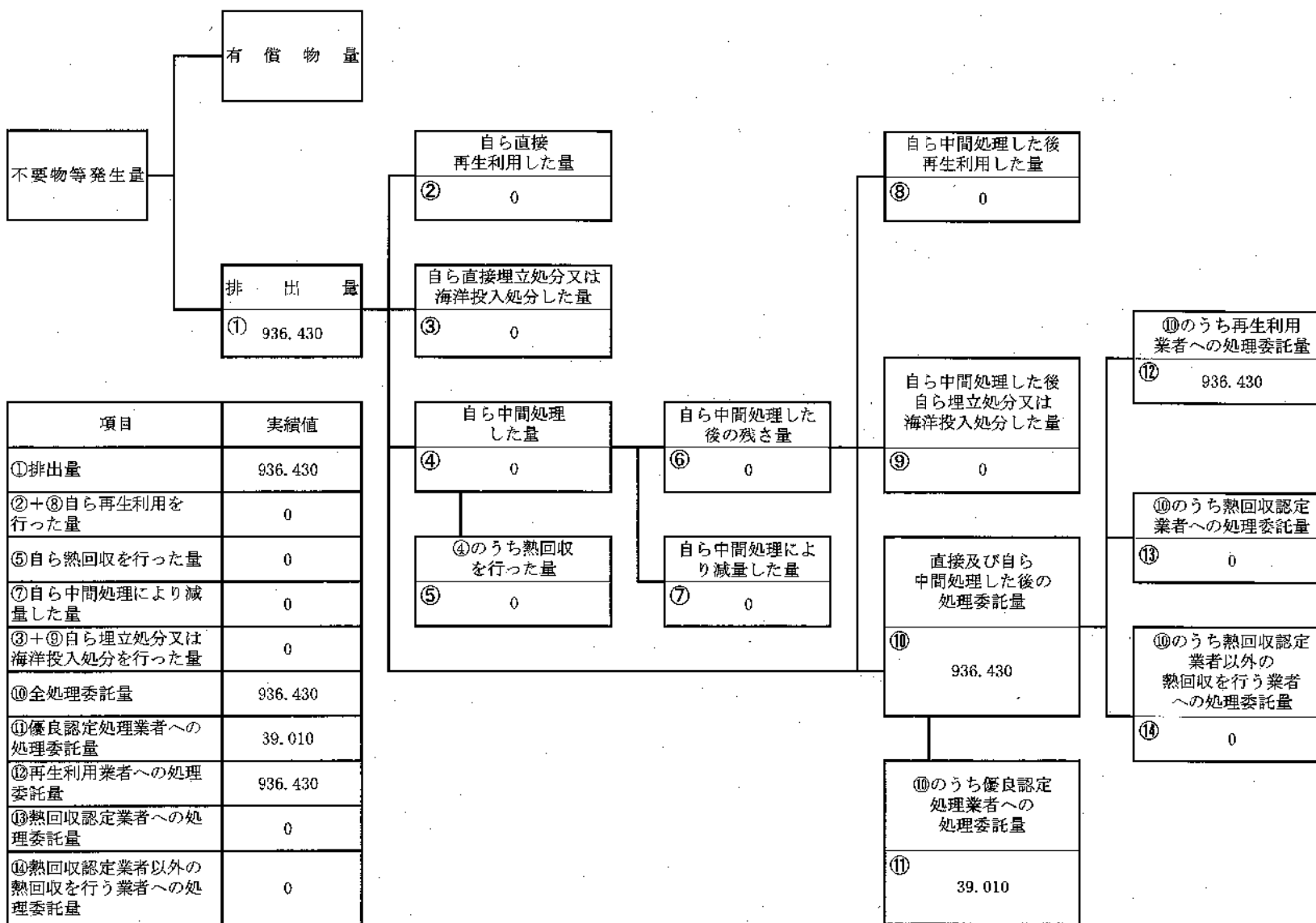
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：鉍さい/キュポラスラグ)



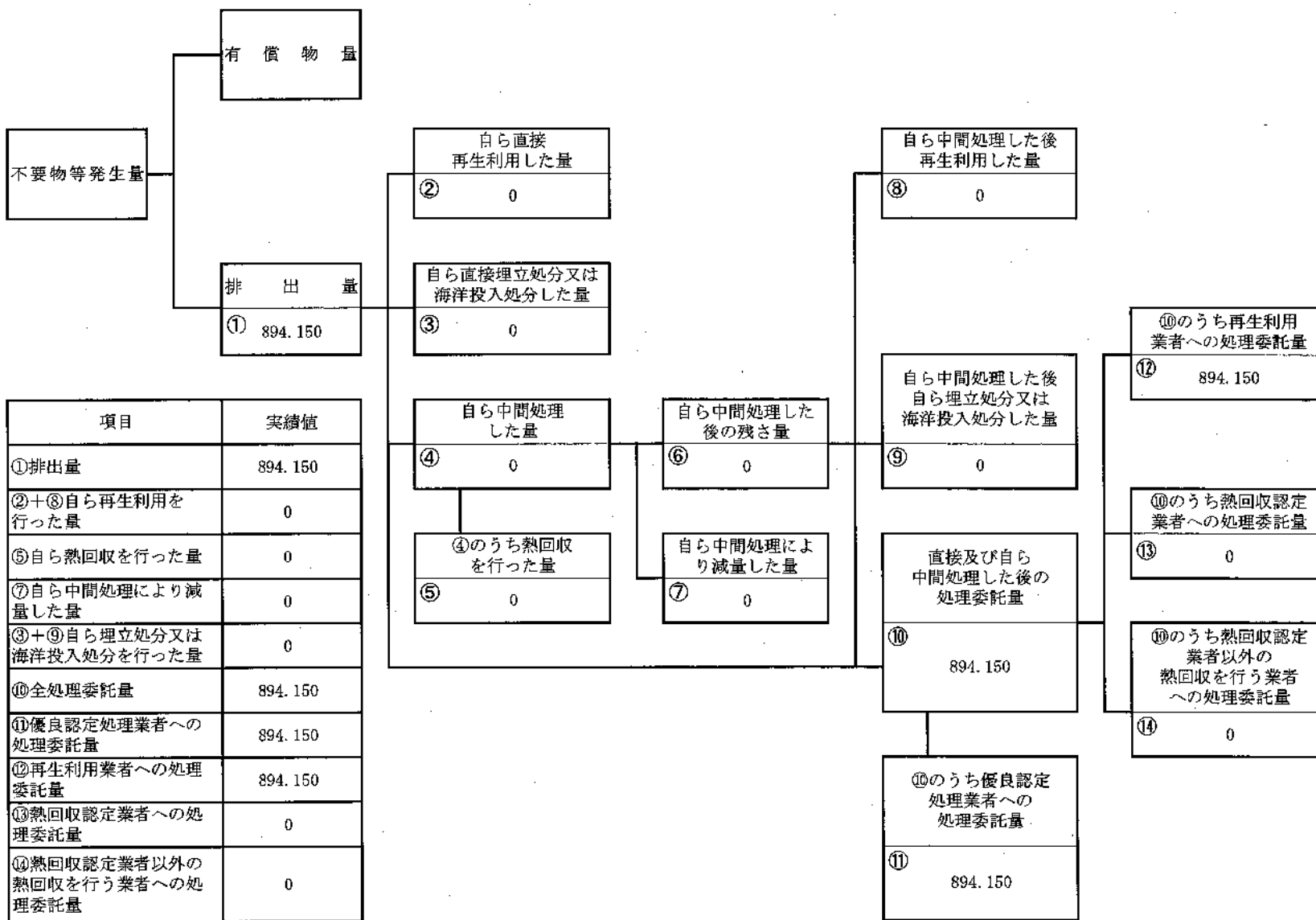
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：鉍さい/脱硫スラグ)



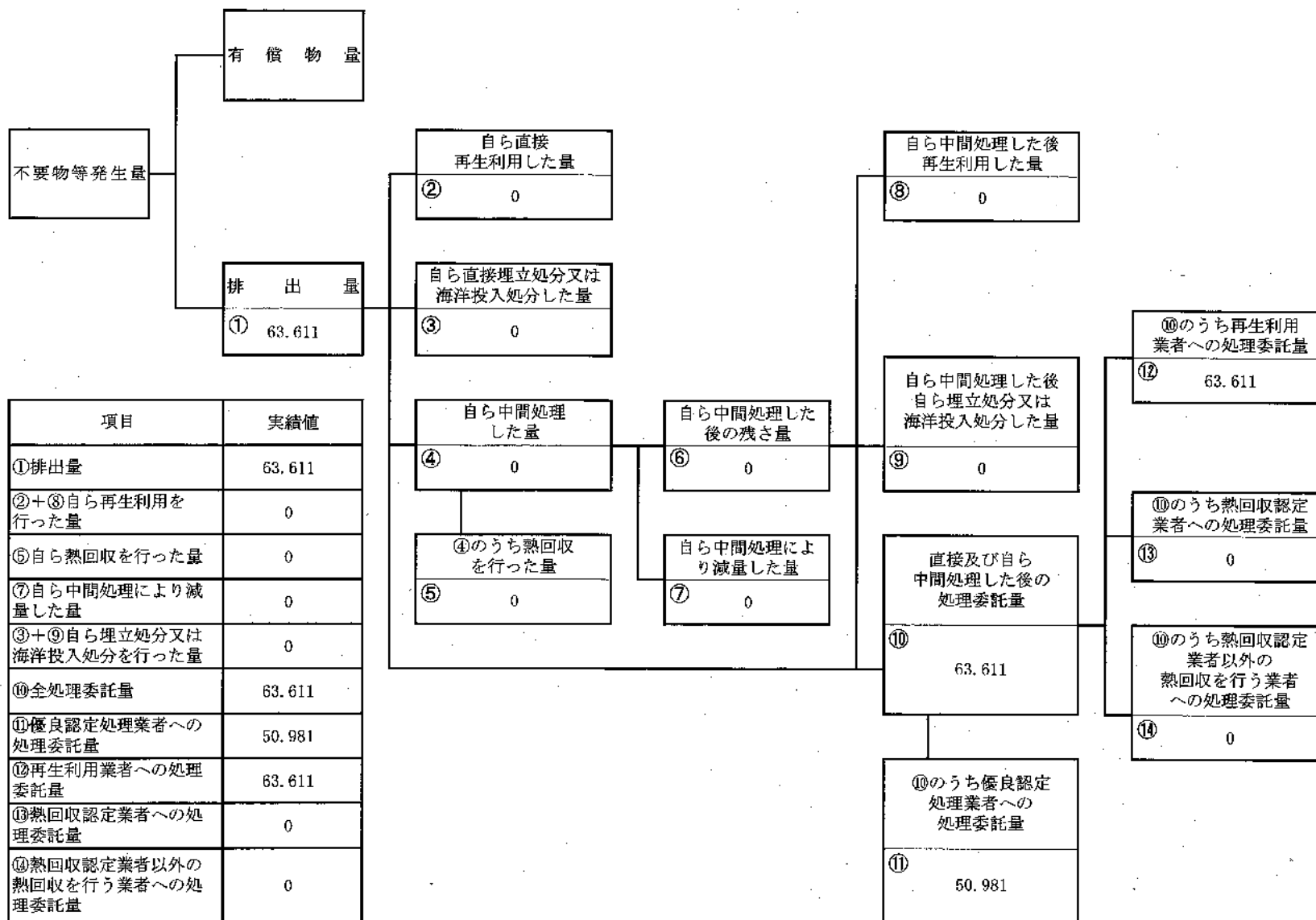
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：排水汚泥)



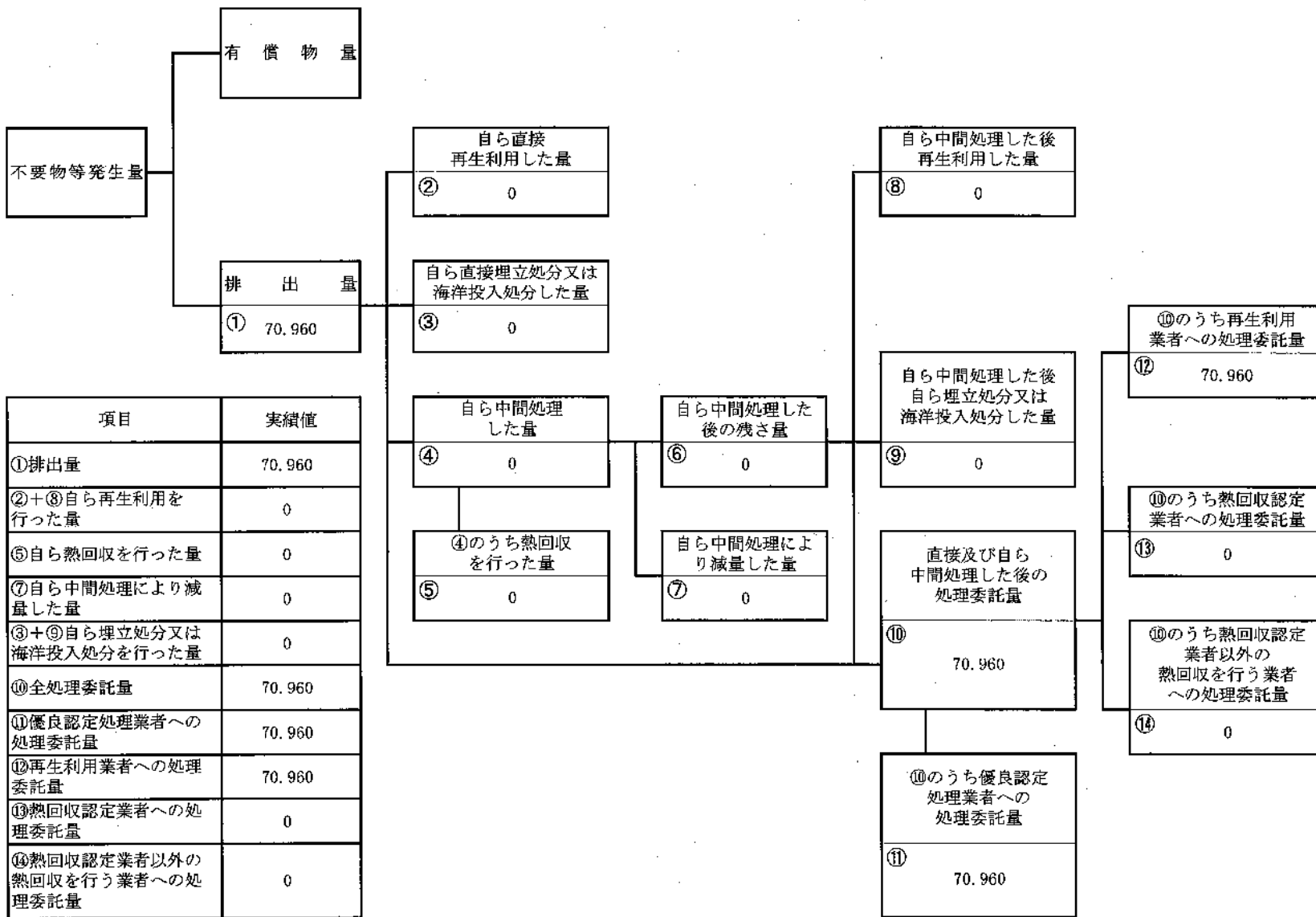
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：汚泥)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：研磨スラッジ)



(産業廃棄物の種類：廃油)

不要物等発生量

排	出	量
1	1	1
2	2	2
3	3	3
4	4	4
5	5	5
6	6	6
7	7	7
8	8	8
9	9	9
10	10	10
11	11	11
12	12	12
13	13	13
14	14	14
15	15	15
16	16	16
17	17	17
18	18	18
19	19	19
20	20	20
21	21	21
22	22	22
23	23	23
24	24	24
25	25	25
26	26	26
27	27	27
28	28	28
29	29	29
30	30	30
31	31	31
32	32	32
33	33	33
34	34	34
35	35	35
36	36	36
37	37	37
38	38	38
39	39	39
40	40	40
41	41	41
42	42	42
43	43	43
44	44	44
45	45	45
46	46	46
47	47	47
48	48	48
49	49	49
50	50	50
51	51	51
52	52	52
53	53	53
54	54	54
55	55	55
56	56	56
57	57	57
58	58	58
59	59	59
60	60	60
61	61	61
62	62	62
63	63	63
64	64	64
65	65	65
66	66	66
67	67	67
68	68	68
69	69	69
70	70	70
71	71	71
72	72	72
73	73	73
74	74	74
75	75	75
76	76	76
77	77	77
78	78	78
79	79	79
80	80	80
81	81	81
82	82	82
83	83	83
84	84	84
85	85	85
86	86	86
87	87	87
88	88	88
89	89	89
90	90	90
91	91	91
92	92	92
93	93	93
94	94	94
95	95	95
96	96	96
97	97	97
98	98	98
99	99	99
100	100	100

② 0

自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分した量

自ら中間処理
した量

自ら中間処理した
後の残さ量

自ら中間処理した後
再生利用した量

8

自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分した量

直接及び自ら
中間処理した後の
処理委託量

⑩のうち再生利用
業者への処理委託量

⑫	530.650
---	---------

⑩のうち熱回収認定
業者への処理委託量

13	0
----	---

⑩のうち熱回収認定
業者以外の
熱回収を行う業者
への処理委託量

14	0
----	---

⑩のうち優良認定
処理業者への
処理委託量

⑪ 474.130

項目	実績値
①排出量	530.650
②+③自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	530.650
⑪優良認定処理業者への処理委託量	474.130
⑫再生利用業者への処理委託量	530.650
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

(産業廃棄物の種類：廃プラスチック)

不要物等発生量

排出量

① 146.580

自ら直接
再生利用した量

②

自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分した量

③ 0

自ら中間処理
した量

④ 0

④のうち熱回収
を行った量

⑤

自ら中間処理した
後の残さ量

⑥

自ら中間処理に
り減量した量

⑦

自ら中間処理した後
再生利用した量

8

自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分した量

9

直接及び自ら
中間処理した後の
処理委託量

⑩	146,580
---	---------

⑩のうち優良認定
処理業者への
処理委託量

⑪	124.340
---	---------

⑩のうち再生利用
業者への処理委託量

12 146.580

⑩のうち熱回収認定
業者への処理委託量

⑬	0
---	---

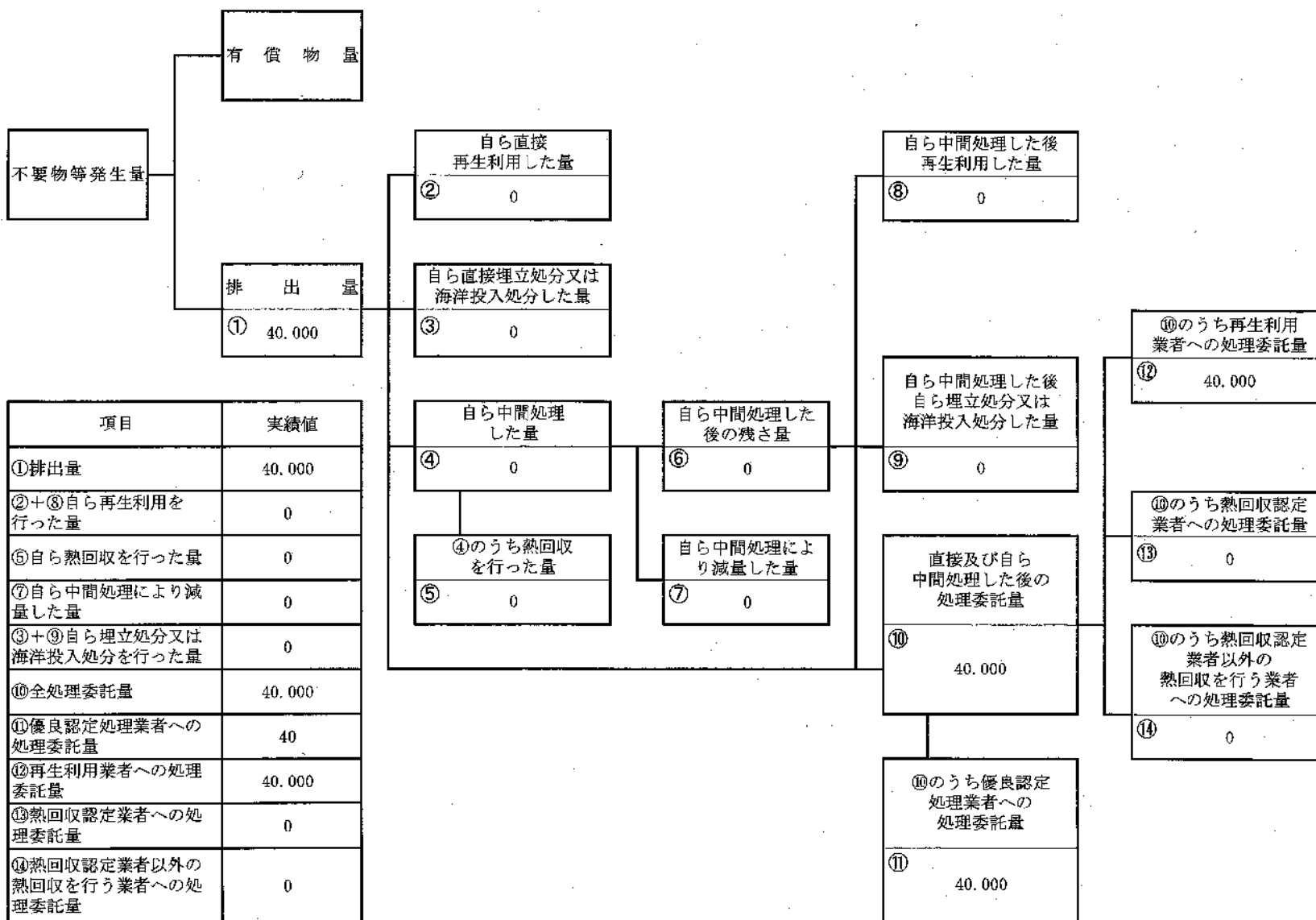
⑩のうち熱回収認定
業者以外の
熱回収を行う業者
への処理委託量

14	0
----	---

項目	実績値
①排出量	146.580
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	146.580
⑪優良認定処理業者への処理委託量	124.340
⑫再生利用業者への処理委託量	146.580
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：木くず)



(産業廃棄物の種類：ガラス・陶磁器くず)

不要物等発生量

排出量

自ら直接
再生利用した量

②	0
---	---

自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分した量

③ 0

自ら中間処理
した量

④ 0

④のうち熱回収
を行った量

⑤ 0

自ら中間処理した
後の残さ量

⑥

自ら中間処理に
り減量した量

⑦

自ら中間処理した後
再生利用した量

⑧

自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分した量

⑨ 0

直接及び自ら
中間処理した後の
処理委託量

⑩ 8.970

⑩のうち優良認定
処理業者への
処理委託量

⑪ 8. 660

⑩のうち再生利用
業者への処理委託量

⑫ 8.970

⑩のうち熱回収認定
業者への処理委託量

13 0

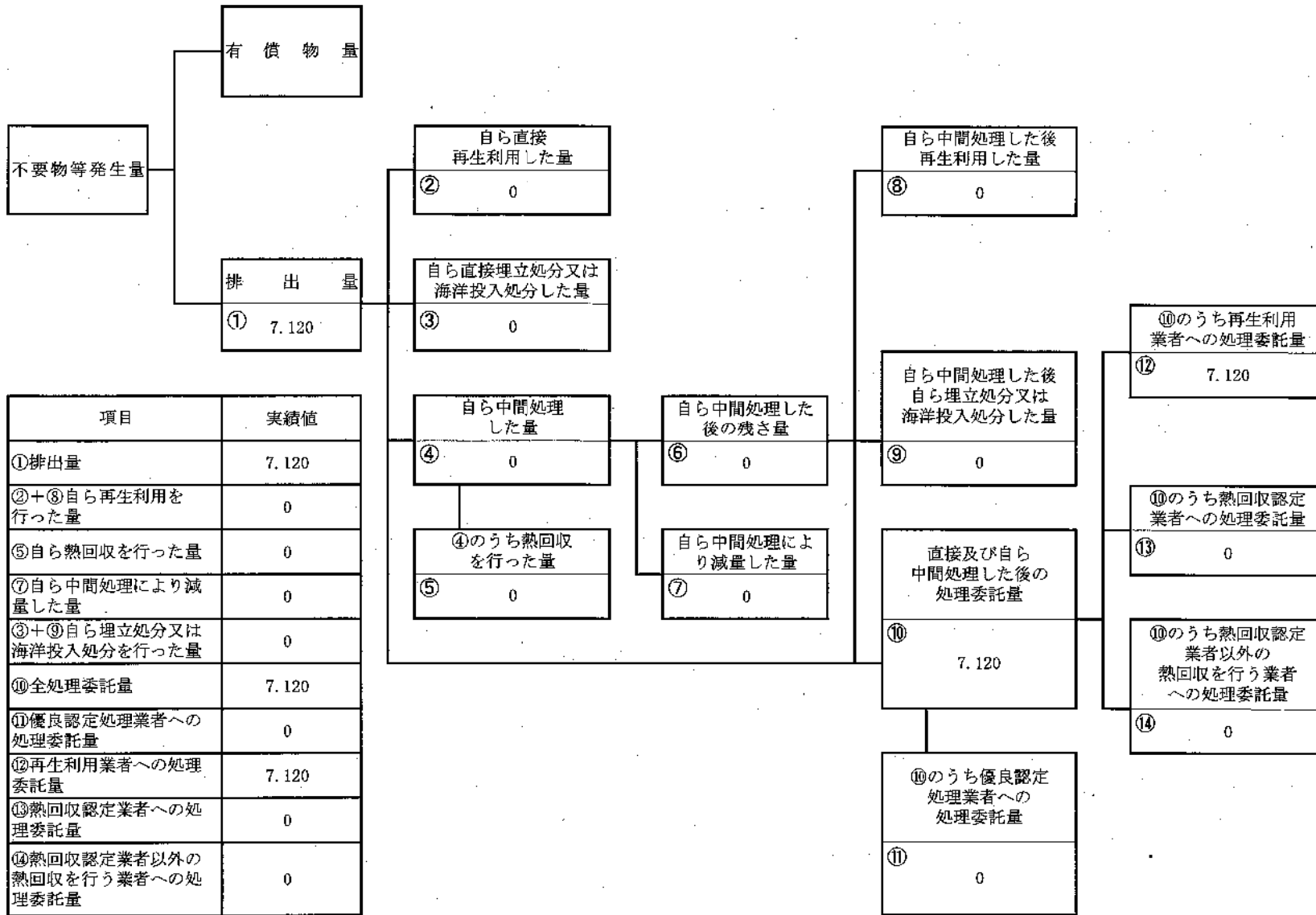
⑩のうち熱回収認定
業者以外の
熱回収を行う業者
への処理委託量

14 0

項目	実績値
①排出量	8.970
②+⑧自ら再生利用を行なった量	0
⑤自ら熱回収を行なった量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行なった量	0
⑩全処理委託量	8.970
⑪優良認定処理業者への処理委託量	9
⑫再生利用業者への処理委託量	8.970
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

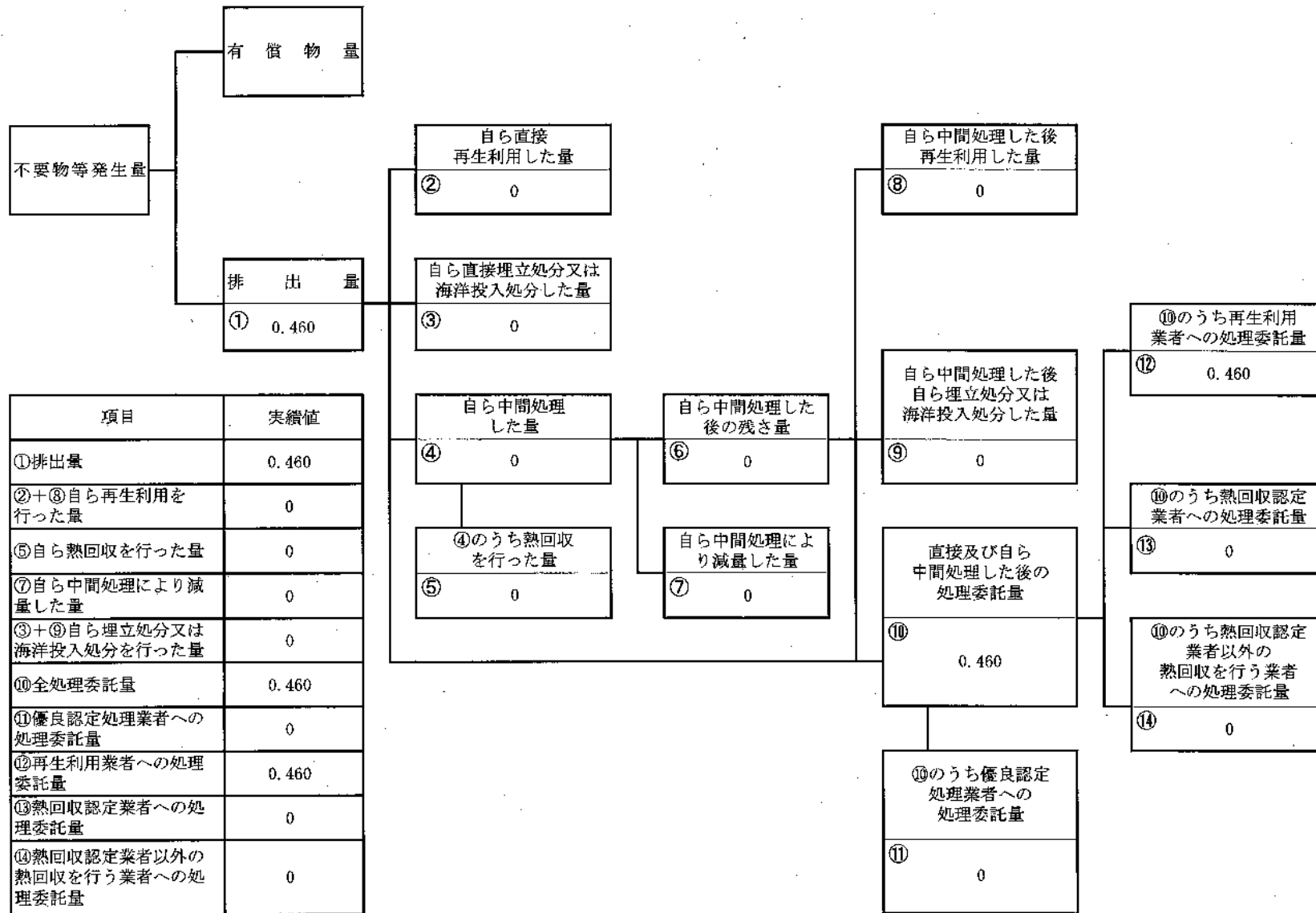
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：金属くず)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：金属くずと汚泥の混合物)



(第3面)

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物処理状況調査票

(No. 1)

1 事業場の概要

項目	内容	項目	内容	備考
事業場の名称	アイシン高丘株式会社 本社工場	従業員数 (人)	1,725人	前年度の3月31日現在の従業員数 (パート等の臨時職員及び役員等を含む) を記入して下さい。
記入者名	安全健康環境推進部 環境T 鈴木裕之	当該事業所の元請完成工事高 (万円/年)	—	建設業の場合記入。 愛知県内 (政令市を除く) で行われた工事の年間の元請完成工事高 (出来高工事を含む) を記入して下さい。
連絡先	(電話) 050-3094-5319	当該事業所の製造品出荷額 (万円/年)	117,740	製造業の場合記入。 前年度の4月1日から3月31日までの1年間の額を記入して下さい。

2 実施状況

産業廃棄物の種類 (名称)		鉱さい	鉱さい	鉱さい	鉱さい	鉱さい
項目		鑄物ダスト	鑄物砂 (再生)	ノロくず	キュボラスラグ	脱硫スラグ
前年度計画の実施状況 (前年度実績)	a 不要物等発生量 (t/年)	20,872.900	10,791.040	2,617.730	4,410.520	936.430
	b 有償物量 (t/年)	133.800	447.700	0.000	0.000	0.000
	① 排出量 (t/年) (①=a-b)	20,739.100	10,343.340	2,617.730	4,410.520	936.430
	② 自ら直接再生利用した量 (t/年)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量 (t/年)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	④ 自ら中間処理した量 (t/年)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	処理方法	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	⑦ 自ら中間処理により減量した量 (t/年) (⑦=④-⑥)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	⑥ 自ら中間処理した後の残存量 (t/年)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	⑧ 自ら中間処理した後再生利用した量 (t/年)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	⑨ 自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量 (t/年)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	c 自ら中間処理した後の処理委託量 (t/年) (c=⑥-⑧-⑨)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	d 直接処理委託量 (t/年) (d=①-②-③-④)	20,739.100	10,343.340	2,617.730	4,410.520	936.430
	⑩ 直接及び自ら中間処理した後の処理委託量 (t/年) (⑩=c+d)	20,739.100	10,343.340	2,617.730	4,410.520	936.430
	e 埋立処分又は海洋投入処分の処理委託量 (t/年)	0.000	0.000	308.650	0.000	0.000
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	f 委託中間処理量 (t/年)	20,739.100	10,343.340	2,309.080	4,410.520	936.430
	処理方法	A	A	C	C	A
	g 委託中間処理により減量した量 (t/年)	1,036.955	2,068.668	0.000	0.000	0.000
	h 委託中間処理した後再生利用した量 (t/年)	19,702.145	8,274.672	2,309.080	4,410.520	936.430
	再生利用用途	A	A	A	A	A
	i 委託中間処理した後埋立処分又は海洋投入処分した量 (t/年)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	j 再生利用量 (t/年) (j=②+⑧+h)	19,702.145	8,274.672	2,309.080	4,410.520	936.430
	k 中間処理による減量 (t/年) (k=⑦+g)	1,036.955	2,068.668	0.000	0.000	0.000
	l 最終処分量 (t/年) (l=③+⑨+e+i)	0.000	0.000	308.650	0.000	0.000

(注) 1 産業廃棄物発生・処理フロー図を参考に記載してください。

2 再生利用用途コード A: 原料・材料 B: 燃料 C: 飼料・肥料 D: 建設材料 E: その他 (具体的に記載)

3 処理方法コード A: 焼却・溶融 B: 脱水・乾燥 C: 破碎・圧縮 D: 中和 E: その他 (具体的に記載)

4 記入欄が不足する場合は、シートをコピーしてお使いください。なお、この場合、右上No. 欄にページを記載してください。

5 ①~④、⑥~⑩は様式第二号の九又は様式第二号の一四の第2面と同じ項目です。

産業廃棄物処理状況調査票

(No. 2)

1 事業場の概要

項目	内容	項目	内容	備考
事業場の名称	アイシン高丘株式会社 本社工場	従業員数 (人)	1,725人	前年度の3月31日現在の従業員数 (パート等の臨時職員及び役員等を含む) を記入して下さい。
記入者名	安全健康環境推進部 環境T 鈴木裕之	当該事業所の元請完成工事高 (万円/年)	—	建設業の場合記入。 愛知県内 (政令市を除く。) で行われた工事の年間の元請完成工事高 (出来高工事を含む) を記入して下さい。
連絡先	(電話) 050-3094-5319	当該事業所の製造品出荷額 (万円/年)	117,740	製造業の場合記入。 前年度の4月1日から3月31日までの1年間の額を記入して下さい。

2 実施状況

項目	産業廃棄物の種類 (名称)	汚泥	汚泥	廃油	廃油	廃プラスチック
		排水汚泥	汚泥	研磨スラッジ	廃油	廃プラスチック
前年度計画の実施状況 () 年度実績	a 不要物等発生量 (t/年)	894.150	63.611	70.960	541.250	146.580
	b 有償物量 (t/年)	0.000	0.000	0.000	10.600	0.000
	① 排出量 (t/年) (①=a-b)	894.150	63.611	70.960	530.650	146.580
	② 自ら直接再生利用した量 (t/年)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量 (t/年)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	④ 自ら中間処理した量 (t/年)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	処理方法	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	⑦ 自ら中間処理により減量した量 (t/年) (⑦=④-⑤)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	⑥ 自ら中間処理した後の残存量 (t/年)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	⑧ 自ら中間処理した後の再生利用した量 (t/年)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	⑨ 自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量 (t/年)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	c 自ら中間処理した後の処理委託量 (t/年) (c=⑥-⑧-⑨)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	d 直接処理委託量 (t/年) (d=①-②-③-④)	894.150	63.611	70.960	530.650	146.580
	⑩ 直接及び自ら中間処理した後の処理委託量 (t/年) (⑩=c+d)	894.150	63.611	70.960	530.650	146.580
	e 埋立処分又は海洋投入処分の処理委託量 (t/年)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	f 委託中間処理量 (t/年)	894.150	63.611	70.960	530.650	146.580
	処理方法	A	A	A	A・E (油水分離)	A・C・E (選別)
	g 委託中間処理により減量した量 (t/年)	447.075	31.806	63.864	477.585	131.922
	h 委託中間処理した後再生利用した量 (t/年)	447.075	31.806	7.096	53.065	14.658
	再生利用用途	A	A	A	A・B	A・B
	i 委託中間処理した後埋立処分又は海洋投入処分した量 (t/年)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	j 再生利用量 (t/年) (j=②+⑧+h)	447.075	31.806	7.096	53.065	14.658
	k 中間処理による減量 (t/年) (k=⑦+g)	447.075	31.806	63.864	477.585	131.922
	l 最終処分量 (t/年) (l=③+⑨+e+i)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000

(注) 1 産業廃棄物発生・処理フロー図を参考に記載してください。

2 再生利用用途コード A: 原料・材料 B: 燃料 C: 飼料・肥料 D: 建設材料 E: その他 (具体的に記載)

3 処理方法コード A: 焼却・溶融 B: 脱水・乾燥 C: 破碎・圧縮 D: 中和 E: その他 (具体的に記載)

4 記入欄が不足する場合は、シートをコピーしてお使いください。なお、この場合、右上No. 欄にページを記載してください。

5 ①~④、⑤~⑩は様式第二号の九又は様式第二号の一四の第2面と同じ項目です。

産業廃棄物処理状況調査票

(No. 3)

1 事業場の概要

項目	内容	項目	内容	備考
事業場の名称	アイシン高丘株式会社 本社工場	従業員数(人)	1,725人	前年度の3月31日現在の従業員数(パート等の臨時職員及び役員等を含む)を記入して下さい。
記入者名	安全健康環境推進部 環境T 鈴木裕之	当該事業所の元請完成工事高(万円/年)	—	建設業の場合記入。 愛知県内(政令市を除く。)で行われた工事の年間の元請完成工事高(出来高工事を含む)を記入して下さい。
連絡先	(電話) 050-3094-5319	当該事業所の製造品出荷額(万円/年)	117,740	製造業の場合記入。 前年度の4月1日から3月31日までの1年間の額を記入して下さい。

2 実施状況

項目	産業廃棄物の種類 (名称)	木くず	ガラス・陶磁器くず	金属くず	立降くずと汚泥の混合汚物 その他
		木くず	廃蛍光灯	金属付廃プラ	廃乾電池
前年度計画の実施状況 (前年度実績)	a 不要物等発生量(t/年)	40,000	8,970	7,120	0,460
	b 有償物量(t/年)	0,000	0,000	0,000	0,000
	① 排出量(t/年) (①=a-b)	40,000	8,970	7,120	0,460
	② 自ら直接再生利用した量(t/年)	0,000	0,000	0,000	0,000
	再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量(t/年)	0,000	0,000	0,000	0,000
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	④ 自ら中間処理した量(t/年)	0,000	0,000	0,000	0,000
	処理方法	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	⑦ 自ら中間処理により減量した量(t/年) (⑦=④-⑥)	0,000	0,000	0,000	0,000
	⑥ 自ら中間処理した後の残量(t/年)	0,000	0,000	0,000	0,000
	⑧ 自ら中間処理した後の再生利用した量(t/年)	0,000	0,000	0,000	0,000
	再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	⑨ 自ら中間処理した後の自ら埋立処分又は海洋投入処分した量(t/年)	0,000	0,000	0,000	0,000
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	c 自ら中間処理した後の処理委託量(t/年) (c=⑥-⑧-⑨)	0,000	0,000	0,000	0,000
	d 直接処理委託量(t/年) (d=①-②-③-④)	40,000	8,970	7,120	0,460
	⑩ 直接及び自ら中間処理した後の処理委託量(t/年) (⑩=c+d)	40,000	8,970	7,120	0,460
	e 埋立処分又は海洋投入処分の処理委託量(t/年)	0,000	0,000	0,000	0,000
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	f 委託中間処理量(t/年)	40,000	8,970	7,120	0,460
	処理方法	C	C・E (選別)	E (選別)	E (選別)
	g 委託中間処理により減量した量(t/年)	0,000	0,000	0,000	0,000
	h 委託中間処理した後の再生利用した量(t/年)	40,000	8,970	7,120	0,460
	再生利用用途	B	A	A	A
	i 委託中間処理した後の埋立処分又は海洋投入処分した量(t/年)	0	0	0	0
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	j 再生利用量(t/年) (j=②+⑧+h)	40,000	8,970	7,120	0,460
	k 中間処理による減量(t/年) (k=⑦+g)	0,000	0,000	0,000	0,000
	l 最終処分量(t/年) (l=③+⑨+e+i)	0,000	0,000	0,000	0,000

(注) 1 産業廃棄物発生・処理フロー図を参考に記載してください。

2 再生利用用途コード A: 原料・材料 B: 燃料 C: 飼料・肥料 D: 建設材料 E: その他(具体的に記載)

3 処理方法コード A: 焼却・溶融 B: 脱水・乾燥 C: 破碎・圧縮 D: 中和 E: その他(具体的に記載)

4 記入欄が不足する場合は、シートをコピーしてお使いください。なお、この場合、右上No.欄にページを記載してください。

5 ①～④、⑥～⑩は様式第二号の九又は様式第二号の一四の第2面と同じ項目です。